

スリムタワー型に革新し、サイズの小型化と人が感じる運転音の低減を実現

「加湿ストリーマ空気清浄機」新発売

ダイキン工業株式会社は、従来の形状とは全く異なるスリムタワー型を採用することで設置面積が小さくなったコンパクトタイプの「加湿ストリーマ空気清浄機」(MCK55S,MCK40S)を 2015 年 9 月 16 日より発売します。

近年、PM2.5 の飛散などによって空気環境に対する意識が高まり、リビングなどの広い空間だけでなく、寝室、子供部屋といった比較的小さな空間でも空気清浄機を使用するケースが増えています。新商品は、スリムタワー型の採用により、空気清浄機の基本である集塵性能を維持しながら、サイズの小型化と人が感じる運転音の低減を実現し、小さな空間で空気清浄機を使用する際のニーズに応えました。

併せて、リビングに最適なハイグレードタイプの「加湿ストリーマ空気清浄機」(MCK70S)を発売し、使用シーンによって異なる多様なニーズに対応します。



MCK55S-D

【商品の特長】

1. 設置面積を約 30%小さくし^{※1}、人が感じる運転音も約 30%以上低減^{※2} (MCK55S、MCK40S)

空気清浄機の基本である集塵性能を維持しながら、小部屋で使用する際に求められるサイズの小型化と運転音の低減を実現するため、機能部品の形状と内部構造を根本的に見直しました。送風ファン、集塵フィルター、加湿ユニットなどの部品を下から上に配置したスリムタワー型の採用により、従来の構造に比べて設置面積を約 30%小さくしました。また、運転音の元となる送風ファンを本体最下部に配置し、その上部に集塵フィルターを配置することによる防音効果で、人が感じる運転音の大きさを約 30%以上低減しました。

2. お手入れを簡単にし、ユーザーの負担を軽減 (MCK55S、MCK40S)

定期的な掃除が必要なプレフィルターを本体側面に配置したことで、フィルターを取り外すことなく、付着したホコリを直接掃除機で吸い取る事が出来るようになり、掃除の負担を軽減しました。また、給水タンクを本体の上部に配置することで、給水時に楽な姿勢で取り出せるようになりました。給水タンクの高さを従来よりも 11cm 低い 19cm とし、浅い洗面台でも給水しやすくしました。さらに、当社独自技術の「ストリーマ放電」によって有害物質を酸化分解するストリーマユニットは、従来は定期的なメンテナンスが必要でしたが、放電部の構造を見直し、メンテナンスが不要になりました。

3. シンプルなデザインに一新、カラーラインアップにオレンジを追加 (MCK55S)

個性のある様々な部屋のインテリアに合わせやすい、シンプルなデザインに一新しました。また、従来の白、茶、青の落ち着いたカラーバリエーションに、インテリアのアクセントとなるオレンジを新たに加え、プライベート空間の多様なニーズに応えます。

【価格・発売時期】

品名	加湿ストリーマ空気清浄機		
品番	MCK70S-W(-T)	MCK55S-W(-T)(-D)(-A)	MCK40S-W
価格	オープン価格		
発売日	2015 年 9 月 16 日		

※1 当社従来機 MCK55R との比較。従来機：幅 374mm×奥行 270mm 当機種：幅 270mm×奥行 270mm により、27%床面積低減。

※2 無響室に空気清浄機を設置し、着席時(製品から 0.5m、高さ 1.28m)の耳の位置で運転音を収録し、ISO 532B に基づいて算出。従来機(MCK55R)14SONE から新型機(MCK55S)9SONE への低減を確認。(ターボ運転時)

【その他の特長】

- 飛び出す「アクティブプラズマイオン」と吸い込んで分解する「ストリーマ」のダブル方式を採用
- PM2.5 もすばやく検知する「トリプル検知」センサー搭載
- PM2.5への対応 本体で0.1～2.5 μ m の粒子を99%除去※3
換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮していません。
 - ・PM2.5 とは 2.5 μ m 以下の微小粒子状物質の総称です。
 - ・この空気清浄機では 0.1 μ m 未満の微小粒子状物質について、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質すべてを除去できるものではありません。
 - ・32m³ (約 8 畳) の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。
- 加湿水※4 と加湿フィルターに捕集した細菌を抑制※5
- 10 年交換不要※6 の集塵フィルター・加湿フィルター
- 新たにリモコンを付属し、操作性を向上 (MCK55S/MCK40S)

【仕様一覧】

加湿ストリーマ空気清浄機						
						
	MCK70S-W(-T) (ホワイト、ビターブラウン)		MCK55S-W(-T)(-D)(-A) (ホワイト、ディープブラウン、 ブライトオレンジ、ミッドナイトブルー)		MCK40S-W (ホワイト)	
最大風量	7.0(m ³ /分)		5.5(m ³ /分)		4.0(m ³ /分)	
適用床面積	空気清浄	加湿機能	空気清浄	加湿機能	空気清浄	加湿機能
空気清浄機単独	31畳(51m ²) 8畳を清浄する 目安9分	—	25畳(41m ²) 8畳を清浄する 目安11分	—	19畳(31m ²) 8畳を清浄する 目安15分	—
加湿+空気清浄		[プレハブ]18畳 (29m ²) [木造]11畳 (18m ²)		[プレハブ]14畳 (23m ²) [木造]8.5畳 (14m ²)		[プレハブ]11畳 (18m ²) [木造]7畳 (11m ²)
消費電力	8～73W	12～75W	6～56W	11～58W	6～31W	9～33W
運転音	18～54dB	23～54dB	19～53dB	25～53dB	19～49dB	24～49dB
加湿能力	630ml/時		500ml/時		400ml/時	
電源	単相100V					
外形寸法	620mm × 395mm × 287mm		700mm × 270mm × 270mm			
高さ × 幅 × 奥行						
製品質量	12.5kg(水無し)		9.5kg(水無し)			

※3 試験方法：日本電機工業会 自主基準 (HD-128) 判定基準：0.1～2.5 μ m の微小粒子状物質を32m³ (約8 畳) の密閉空間で99%除去する時間が90 分以内であること。32m³ (約8 畳) の試験空間に換算した値です。

※4 試験機関：(一財) 日本食品分析センター 試験番号：第15044985004-0101号 試験方法：日本電機工業会 自主基準 (HD-133) の性能評価試験にて実施。加湿水内の1種類の細菌にて確認。試験結果：24時間で99%以上抑制。試験機：MCK55Sで実施。(ターボ運転)

※5 試験機関：(一財) 日本食品分析センター 試験番号：第15044989001-0101号 試験方法：加湿フィルター上流側に菌液を接種した試験片を貼付し、25 m³ (約6 畳) の試験空間で運転。1種類の細菌にて確認。試験結果：5時間後に99%以上抑制。試験機：MCK55Sで実施。(ターボ運転)

※6 高性能フィルター 日本電機工業会規格 JEM1467 に基づく試験方法により算出。電機工業会基準はタバコを1日5本以上に設定。タバコの有害物質(一酸化炭素等)は除去できません。使用状況により、寿命が早いことがあります。加湿フィルター 定格加湿能力に対し加湿能力が50%に落ちるまでの期間。1日の使用時間8時間、1シーズンを6ヶ月とし定期的にお手入れをした場合の交換目安です。水質、使用環境によって、加湿フィルターの交換時期は早くなる場合があります。

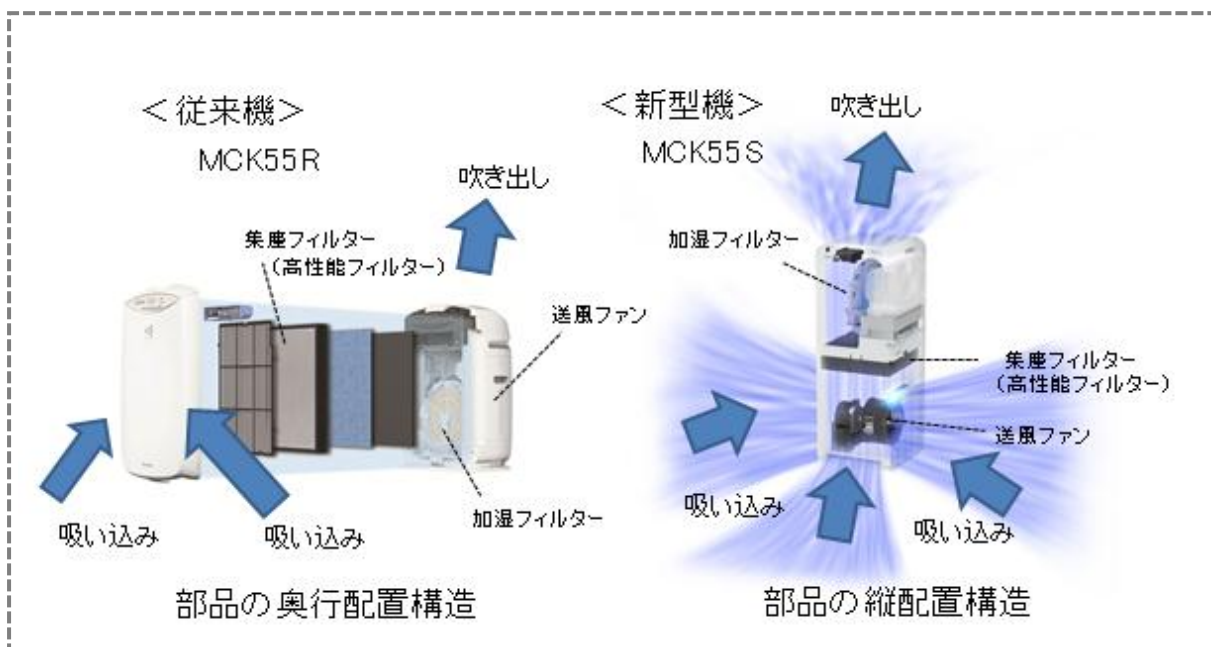
※7 節電運転(6.8Wh)と風量自動運転(10.9Wh)の比較。試験条件：6畳で1時間運転 運転開始直後にタバコを1本喫煙した場合。

【特長詳細】

1. 設置面積を約 30%小さくし、人が感じる運転音も約 30%以上低減 (MCK55S、MCK40S)

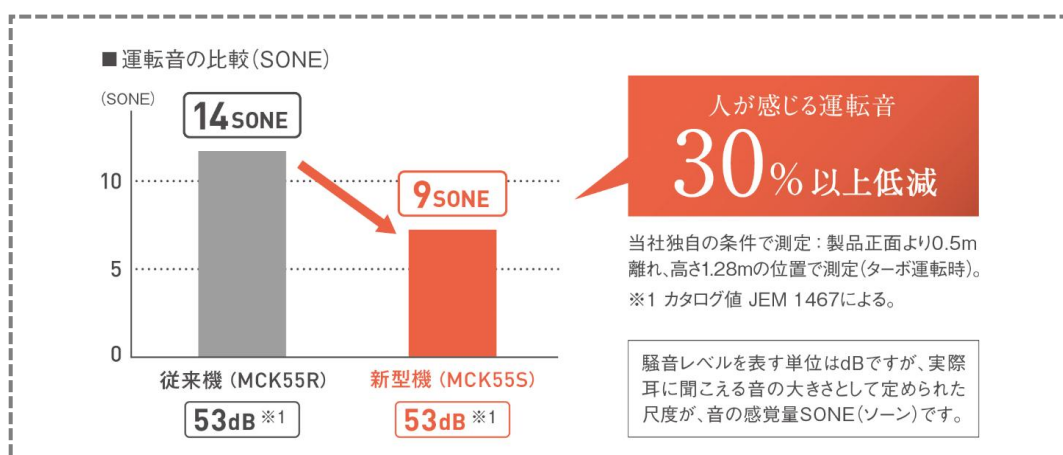
◆部品を下から上に積み重ねたスリムタワー型を採用し、設置面積を約 30%縮小。

- ・両側から吸い込むダブルファンを採用することにより、送風ファンの小型化を実現。
- ・空気経路と部品配置の最適化を図り、フィルターの小型化を実現。



◆人が感じる運転音を約 30%以上低減。

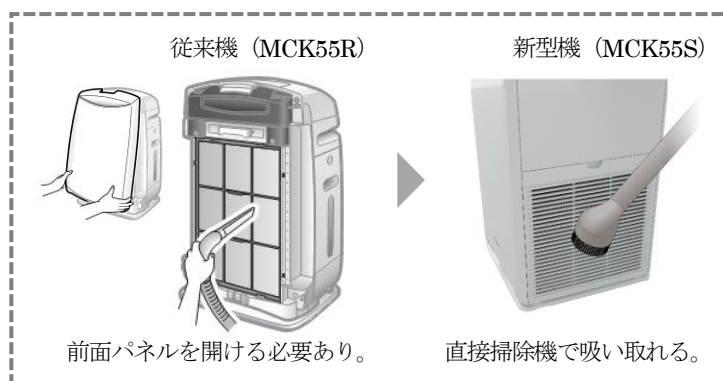
- ・運転音の元となる送風ファンを本体下部に配置し、ファン上部にフィルターを配置したことによる防音効果。
- ・吹き出し口の開口を広くし、吹き出す風の風速を弱め、風切り音を低減。



2. お手入れを簡単にし、ユーザーの負担を軽減（MCK55S、MCK40S）

<プレフィルタのお手入れ>

- ・プレフィルタを本体側面に設置したことで、付着したホコリを直接掃除機で吸い取ることができるようになり、掃除の負担を軽減。



<給水タンクのお手入れ>

- ・給水タンクを本体上部に配置したことで、楽な姿勢で取り外しが可能。
- ・さらに加湿タンクの高さを低くすることで、浅い洗面台でも楽に給水が可能。



<ストリーマのお手入れ>

- ・当社独自技術の「ストリーマ放電」によって有害物質を酸化分解するストリーマユニットは、より放電部に汚れがたまりにくい放電システムの採用により、メンテナンスが不要。

3. シンプルなデザインに一新、カラーラインアップにオレンジを追加（MCK55S）

- ◆空間になじむ、直線的なシンプルフォルム。
カラーラインアップとして新たにオレンジを採用。



【設置例（イメージ）】

